

## 指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	手稲区土木部維持管理課(681-4011)
-----	-------	-----------	-----------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①前田森林公園 ②山口緑地パークゴルフ場西コース ③星置公園 ④明日風公園 ⑤山口緑地パークゴルフ場東コース	所在地	①手稲区手稲前田591外 ②手稲区山口582外 ③手稲区星置2条1丁目 ④手稲区明日風2丁目 ⑤手稲区山口295-1
告示年月日	①昭和62年8月1日 ②平成11年3月3日 ③平成1年3月31日 ④平成22年5月8日	面積	①597,258㎡ ②31,789㎡ ③61,791㎡ ④47,000㎡ ⑤153,000㎡
公園種別	①総合公園 ②⑤都市緑地 ③④地区公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	上記公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①カナル、壁泉、展望ラウンジ、野球場、球技場、パークゴルフ場他 ②パークゴルフ場 ③テニスコート、野球場 ④テニスコート、パークゴルフ場、徒渉池 ⑤パークゴルフ場(45ホール)、駐車場(308台、身障者7台)、クラブハウス		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・ていねグリーンコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、(株)スペース・デザイン工業、マルミプラス(株))		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:5 複数施設を一括指定の場合、その理由:①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場)運営(利用料金制度)、緑化普及啓発業務		
3 評価単位			
	施設数:5 複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の指定管理者で維持管理しているため。		

## II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>前田森林公園、山口緑地パークゴルフ場西コース・東コース、星置公園、明日風公園においては、以下の基本方針に基づき管理運営にあたった。</p> <p>【1】平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>【2】関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>【3】資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p> <p>【4】コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、集いの場としての魅力を高める。</p> <p>【5】都市における多様な環境圧の下、みどりのオープンスペースとしての存在効果を高める。</p> <p>【6】カナルや広大な樹林、芝生広場、パークゴルフ場、野球場、球技場の利用を拡充する。</p> <p>【7】前田森林公園凸凹クラブ等のボランティア団体の活動を積極的に支援し、公園のシンボルであるカナルや樹林等の緑の利用価値を高める。</p>	<p>平成29年度は管理運営の基本方針を基に、施設利用者の満足度向上のため、パークモニターを実施する等、各公園・施設の状態を適宜確認し、適切な維持管理業務を進めることができた。</p> <p>前田森林公園では、公園窓口売店売上と窓口系統の水道使用量とを比較したところ双方とも1.3倍と相関関係があったことから入園者数が伸びたと考えられる。また、有料施設、特にパークゴルフ場においては、前年より増収となり、利用者数も約3,500名増となった。以上のことから広報等の活動において公園利用の拡充を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: red;">B</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>基本方針に基づき管理がなされた。入園者数と収入が増加していることから、利用者ニーズに答えるための工夫が効果を発揮していると思われるので、引き続き取り組みを継続すること。</p>	A	B	C	D		B		
A	B	C	D								
	B										

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

【平等利用に係る方針】

年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者に不公平感を抱かせる事のないようスタッフ教育を徹底し、公園・施設の管理運営を行う。

【平等利用の取組状況と実績】

公園、有料施設の利用に対して、担当職員の採用時の教育徹底、研修会の参加、緊急時の避難誘導訓練、指導を行った。

公園案内看板のレイアウト変更・増設、注意指導(有料施設的不正使用、バーベキュー広場の場所取り行為、指定場所以外での火気使用行為、犬の放し飼いや糞の不始末、ゴミの不法投棄等)の取組みを行った。特に公園利用者からの苦情で多い犬の放し飼いについては、地区公園を含め早朝巡回を行い、飼い主への注意喚起を行った。

また、季節の見どころ、イベント情報、施設管理情報を公園ホームページとSNS(Twitter)に掲載したほか、ネット利用者以外への対応として園内掲示板、地域の施設に掲示するなど、広く情報発信に努めた。

スタッフの教育訓練として接遇研修、救命処置研修などを実施し、意識・技術の向上を図ることができた。

スタッフはバリアフリーの観点で園内をチェックするほか、障がい者でも閲覧可能なホームページのデザインや内容検討など不便の解消・改善に向けた管理運営を行った。

情報発信の方法としてインターネットでの発信が非常に有効で、公園ホームページやTwitterで園内状況を確認してから来園する層が増加していることから、継続して平等な情報発信に努めた。それにより公園の存在を知らない若年層の来園のきっかけづくりができた。

目的に合った研修を行うことで、適切に取り組んでいたと評価する。さらに、有効と考えられるツールの積極的利用により、来園のきっかけづくりができており、情報発信の強化につなげている。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受けて構築しているEMSに基づき、以下の取組み項目について、環境改善活動の推進に努めた。

▼ 公園の維持管理に伴う環境負荷の軽減として、『化学農薬を極力使わない植物管理』、『植物残渣のリサイクル』、『一般ごみの削減』

▼ エネルギーの合理化によるCO<sub>2</sub>発生抑制として、『公園管理事務所での燃料、電力、水道使用量の節約』など

▼ CO<sub>2</sub>吸収・蓄積に寄与する取組みとして、『リサイクル堆肥の施用』、『樹形管理、除伐による公園樹木の健全な育成』、『樹木の育苗・植樹による緑の量の充実』

▼ 化学農薬を極力使わない管理として、パークゴルフ場で病害が発生したため、札幌市の許可を得て、使用範囲を限定したスポット散布を実施した。病害の発生については、早期発見に努めた。

▼ 植物残渣のリサイクルに努め、伐倒木等のリサイクルを実施した。

▼ 一般ごみの減量に努め、前年度比で約10%削減となった。植物系廃棄物の資源化については、剪定枝を粉碎・チップ化し、樹木の根元に敷き均すなど、循環型管理を図った。

▼ 電気使用量は、こまめな消灯や施設ポンプモーター運転パターン見直し等により、前年度比で約6%削減した。

▼ 水道の節約に努めたが、公園利用者増に伴い前年度比で約5%の増加となった。

▼ 事務用品は、グリーン購入ガイドライン指定品の購入に努めた。

▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。

▼ 職員全員に対し、EMSの取組みの教育を実施した。

パークゴルフ場で病害が発生したため、札幌市の許可を得て、使用範囲を限定したスポット散布を実施した。病害の発生については、早期発見に努め必要最小限の農薬使用、環境負荷軽減ができた。

植物リサイクルについては、伐倒木のチップ化リサイクルに努めるとともに、第2回目の伐採木無料配布を行った。会期は2日間で、前年は約7㎡で試験的に行ったが、今年度は約20㎡を配布し、本格的な運用を試みた。また、植物廃材を用いたクラフトなど、市民への啓発も行い、大変好評を得た。

水道使用量は約5%の増加となったが、一般ごみの削減量は1割程となり、電気使用量は施設の運用見直しにより約6%削減と、全体として環境に配慮した運営ができた。

環境に配慮した活動に積極的に取り組んでいると評価できる。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置するため、臨時職員(維持管理11名、受付2名、パークゴルフ場受付18名)の採用を行った。
- ▼ 当初の研修計画に基づき、職員研修(コンプライアンス研修、管理営事務研修等)を行った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ スタッフの雇用開始時に、環境に関する知識と当協会の環境方針、環境目標に関する講習を実施した。
- ▼ 管理技術向上のため、安全作業手順、機械運転操作、園内車両走行など公園維持管理安全作業に係る講習を実施した。
- ▼ 安全管理向上のため、毎朝ブリーフィング時に他公園の事故報告・苦情要望事項を共有し、無事故のための手順や問題解消のためのディスカッションを実施した。
- ▼ 普通救命講習、消防訓練を実施した。パークゴルフ場受付人員へは安全安心の確保及び高齢の利用者が多いため、再講習期限を待たず、毎年普通救命講習を実施した。
- ▼ 公園満足度の向上のため、アンケート調査の結果をミーティングで報告して管理運営に反映し、公園案内等において改善を図った。
- ▼ 来園者対応向上のため、園内植物(スプリングエフェメラル、サクラ、フジ等)の開花状況等を把握し、スムーズな案内ができるよう周知した。

必要最小限の人数で効率的に管理・運営を行うことができた。  
研修については、必要資格の取得など、適宜実施できた。

安全管理を徹底し、利用者に被害を及ぼす事故はなかった。また、救急対応の際には、救命講習の成果が現れ、迅速な対応ができた。そのほか、苦情や意見、アンケート、また、日常利用状況の把握により利用者ニーズを把握し、反映に努めることで、品質向上が実現できた。

適切な管理ができていたと評価できる。

アンケート調査等により利用者の声を聴き、その結果を反映すよう努めていたことを評価する。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

①前田森林公園

- ・管理事務所、休憩舎、展望ラウンジ、クラブハウスの機械警備業務
- ・自家用電気工作物保安管理業務
- ・展望ラウンジ昇降機点検業務
- ・管理事務所等消防用設備点検業務
- ・展望ラウンジ自動ドア保守点検業務
- ・パークゴルフ場クラブハウス自動ドア保守点検業務
- ・展望ラウンジ清掃業務
- ・地下灯油タンク漏洩検査業務
- ・公衆トイレ維持管理業務
- ・一般事業系廃棄物処理
- ・カン・ビン等処理業務
- ・産業廃棄物処理
- ・受水槽清掃等業務
- ・除雪業務
- ・遊具等保守点検業務

②山口緑地

- ・クラブハウスの機械警備業務
- ・給水棟消防用設備点検業務(3年毎)
- ・パークゴルフ場クラブハウス自動ドア保守点検業務
- ・受水槽清掃等業務

③星置公園

- ・公衆トイレ維持管理業務
- ・遊具等保守点検業務

④明日風公園

- ・公衆トイレ維持管理業務
- ・遊具等保守点検業務
- ・トイレ清掃業務

上記業務を第三者に委託し、仕様書の通り適切に業務を遂行した。

第三者への委託業務に関しては、全て札幌市内の企業に委託できた。

札幌市内の業者を活用していることは評価できる。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
第1回 2月19日	前田森林公園他3公園・緑地の運営に関する札幌市への報告、協議
<協議会メンバー> 札幌市手稲区土木センター 事務係、公園緑化係 （公財）札幌市公園緑化協会、（株）スペースデザイン工業、マルミプラス（株）	

運営協議会のほか、日常的に札幌市と連絡を取り、調整を図ることができた。

協議会の内容は、今後の事業運営の参考にしてほしい。今後とも、管理水準の向上のために適切な時期に調整し開催すること。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。

札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーが集まる営業会議で都度確認し、公園・施設でも周知徹底を図った。不正行為や事故発生未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等の事故は発生していない。

情報を共有し、意見を交換することで、適切に取り組んでいたと評価する。引き続き、適正な管理を行うこと。

▼ 団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。

▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取り組みを行っている。

▽ 要望・苦情対応

▼ 要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、スタッフ研修を実施している。

▼ 市民、公園利用者からの要望、苦情等を集計して札幌市に報告した。

施設に対する苦情等については、可能な限り即時対応し、改善を図ることができ、称賛へと繋がった。利用に関する苦情等は、看板の設置や増設、案内看板へのチラシ設置により利便性の向上や施設案内の周知ができた。星置公園の苦情のうち1件は、事前に札幌市との調整を図っていたため、早期の対応ができた。

様々な要望に対し、迅速かつ適切な対応をしていたと評価する。

【苦情・要望等の件数】

前田森林公園 10件（うち、称賛6件）

星置公園 2件

明日風公園 6件

山口緑地 2件

	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ 主な記録は以下の通り      巡視日報、EMS環境測定記録、EMS教育訓練記録、受水槽点検記録、作業機械点検簿、車両運転記録簿、遊具点検記録簿、防火点検記録簿、苦情等情報シート、ヒヤリハット事例集、月報、四半期報告書、年報</p> <p>▼ 指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、可能な限り実施するよう取り組んだ。</p> <p>▼ アンケートの実施結果は、休憩所に掲示した。</p> <p>▼ 一般来園者へのアンケート以外に、高齢者世代を対象とした「パークモニター」を実施した。</p>	<p>記録については適正に管理・保存を行った。</p> <p>アンケート結果を園内に掲示するとともに、スタッフ間でも情報共有し、自己評価の結果と来園者のニーズを管理運営に反映できた。</p>	<p>利用者のニーズを掴むための活動と、その結果の情報共有を確実にやっていることを評価する。自己評価については、計画書のとおり、適当な情報発信をしていただきたい。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金810円(平成29年10月1日発効、発行前までは786円)以上の時給を支給した。</li> <li>・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</li> <li>・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。</li> <li>・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。</li> <li>・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。</li> <li>・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。</li> <li>・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。</li> <li>・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。</li> <li>・年1回の定期健康診断を実施した。</li> <li>・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。</li> </ul> <p>▼安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーが出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</p> <p>▼公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。□</p>	<p>公園現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>報告・連絡を確実にに行い、法令も遵守していた。引き続き、適切な管理を行ってほしい。安全のためにも適切な取り組みをしていたと評価する。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								



(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
			<p>第三者に対する安全対策は適切に実施されている。今後も安全に配慮した維持管理を行うこと。</p> <p>適切な安全管理ができていた。また、利用者の意見を取り入れた対応をしていたことを評価する。</p>
	<p>▼ 利用者の安全対策として、作業時にセーフティコーンや作業看板を設置して作業を行うとともに、園内の利用状況に応じて作業時間を調整する等、危険な場所に利用者が入らないよう努めるとともに園内での作業車両は、回転灯・ハザード灯を点灯し、速度15km/h以下で走行した。</p> <p>▼ カラスの子育て時期には注意看板を設置し、巣の撤去が必要な場合は専門業者に委託した。スズメバチは安全を確保した上で直営で駆除を実施した。</p> <p>▼ 風雪害等による危険箇所が発生し、処理までに時間を要する場合は、ロープ柵設置や園内掲示板・インターネット上で告知することで来園者に注意喚起し、安全管理に努めた。</p> <p>▼ 駐車場における車上荒らし被害防止のため、混雑時の巡回強化・警察へのパトロール要請・園内放送での貴重品注意喚起などの対策をとり、事件発生を抑制を図った。</p> <p>▼ 保険については計画書通り、施設賠償責任保険、レクリエーション保険、家財保険、任意自動車保険、食品営業賠償保険に加入した。</p> <p>▼ パークゴルフ場での後方への危険球での事故発生を受け、ネットの増設を行った。</p> <p>▼ 利用者のニーズに応えるため、飲食の臨時売店や更衣用プレハブを設置し、市民サービス向上を図った。</p> <p>▼ 冬期は前田森林公園南側拡張区域で駐車場の除雪、仮設トイレ・受付兼休憩所の設置を行い、ながめの丘利用者へ悪天候時等の利便確保を図った。</p> <p>▼ 拾得物取扱いマニュアルを作成し、拾得物及び遺失物の情報を管理事務所内で共有し、遺失者・遺失物の早期発見に努めることでサービス向上を図った。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ 有料施設である野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場は、仕様書の通り4月20日から11月20日まで営業した。</p> <p>▼ 清掃作業については、概ね仕様書の水準を達成した。</p>	<p>利用者の安全対策は計画書の通り実施し、その結果、来園者の事故はなかった。</p> <p>事故が起きた場合は迅速に対応し、必要に応じて保険適用により対応することなど、日頃から完全に準備をしている。</p> <p>イベント等の団体の公園利用については、申込時に園内の危険箇所や想定される事態について説明し、安全対策が図れるようアドバイスを行った。今年度は保険適用になる事故はなく安全確保を図れた。</p> <p>市民サービス向上のため、回収したアンケートや利用者からの意見要望など、実行や改善可能な要望等に迅速に対応することにより、感謝の言葉を頂くことができ、公園の品質向上に繋がった。</p>	

	<p>▼ カナールは春夏秋の年3回の清掃を行い、仕様書に沿った管理を達成できた。</p> <p>▼ 無料施設の開放は仕様書の通り実施した。</p> <p>▼ 公衆トイレは仕様書の通り開放した。</p> <p>▼ 食堂売店は仕様書の通り営業した。</p> <p>▼ 前田森林公園では、汚水ポンプ修繕、展望ラウンジ漏水及び多目的トイレ天井修繕、管理事務所多目的トイレ暖房修繕、地区公園では、星置公園側溝修繕、園路灯不点灯修繕など、施設利用に使用が出ないよう維持管理した。</p> <p>▼ 草刈は、芝生等の伸長状況を観察した刈込みにより効率的な管理に取り組んだ。また、緩効性肥料と刈草による窒素循環を組み合わせた芝生管理により、効率化・低コスト化を図った。</p> <p>▼ 施設の点検等の業務は、必要に応じて専門業者に委託して実施した。</p> <p>▼ 備品管理については、3月に点検を実施した。備品等の修繕については、クラブハウスで使用している冷凍庫及び冷蔵庫を整備修繕した。また、作業機械類については、部品を購入して直営で修繕し、経費圧縮を図った。</p> <p>▽ 防災</p> <p>29年度の防災計画を策定するとともに、5月と11月に消防訓練を実施した。11月は「大規模地震の影響で火災が発生」と、災害の想定を広げた訓練を実施した。</p>	<p>カナールは水質が褐色がかり、藻が繁殖しやすくなっているため清掃回数を調整し対応した。備品に関しては、随時台帳を整理した上で年1回の確認を行った。修繕に関しては、可能なものは直営で行い、専門的な修繕が必要な場合のみ専門業者に委託、運営コストの削減を図ることができた。施設の修繕については、早期対応に努めることで施設利用への支障を最低限に抑えることができた。</p> <p>訓練を予定通り実施した。11月には災害の想定を広げ、複雑な初期対応など、通常よりも内容の濃い訓練が実施できた。</p>	<p>適切に対応していたと評価する。今後はより効率の高い管理を目指して行ってほしい。</p>								
<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 自然環境普及啓発に関する学習機会の提供業務</p> <p>①前田森林公園</p> <p>▼ 札幌市立前田北小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内で採取したカエルの卵を育てる環境教育を支援(3年生2学級49名)</li> </ul> <p>▼ 北海道札幌高等養護学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇管理等を通じた環境実習教育を支援(実習生6名)</li> </ul> <p>▼ 札幌市立稲陵中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園作業を通じた公園管理実習を支援(実習生7名)</li> </ul> <p>②星置公園</p> <p>▼ 札幌稲穂高等支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇管理を通じた環境実習教育を支援(実習生16名)</li> </ul> <p>▼ 札幌市星置東小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習講師として環境教育を実施(4年生対象)</li> </ul>	<p>今年度も多くの教育機関と連携し、職員が補助につき必要な支援を行うことができた。星置東小学校の講師では説明内容を工夫し、子どもたちに環境に対する興味を持ってもらうことができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教育機関と連携する等し、積極的に学習の場として公園を活用したことを評価する。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

	<p>▽ 公園等施設利用に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>①前田森林公園及び山口緑地パークゴルフ場</p> <p>▼ 手稲区パークゴルフ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各パークゴルフ場にて協会会員同好会の交流大会を実施(366名参加)</li> </ul> <p>②前田森林公園</p> <p>▼ 前田森林公園凸凹クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンカチ広場開催のための活動場所の提供(593名参加)</li> <li>・自然観察会案内チラシの作成支援</li> </ul> <p>▼ FDS(競技団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フライングディスクドック大会の運営に関する実施場所と資材提供などの支援(60名参加)</li> </ul> <p>▼ 手稲プレーパークの会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーパークの活動場所の設定支援(155名参加)</li> </ul> <p>▼ 手稲区特定郵便局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園清掃活動運営支援とごみ袋の提供(120名参加)</li> </ul> <p>③明日風公園</p> <p>▼ 明日風フィオーレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇管理ボランティアへの資材の提供</li> </ul>	<p>市民活動に対しては、良好な関係を保つとともに資材の提供や活動場所の提供など、多くの支援ができた。</p>	<p>各市民団体との調整を取り、適切な支援を行っていた。</p>
--	--	---	----------------------------------

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		H28実績	H29計画	H29実績
① 前田森林公園 野球場	件数(件)	305		243
	人数(人)	-		-
	稼働率(%)	18.7		18.8
① 前田森林公園 球技場	件数(件)	109		102
	人数(人)	-		-
	稼働率(%)	16.2		17.0
① 前田森林公園 パーク ゴルフ場	件数(件)	-		-
	人数(人)	27,337		33,812
	稼働率(%)	-		-
② 山口緑地 パーク ゴルフ場 西コース	件数(件)	-		-
	人数(人)	14,194		13,059
	稼働率(%)	-		-
③ 星置公園 野球場	件数(件)	146		156
	人数(人)	-		-
	稼働率(%)	14.3		13.1
③ 星置公園 庭球場	件数(件)	293		232
	人数(人)	-		-
	稼働率(%)	12.4		9.5
④ 明日風 公園 庭球場	件数(件)	660		628
	人数(人)	-		-
	稼働率(%)	26.7		27.4
⑤ 山口緑地 パーク ゴルフ場 東コース	件数(件)	-		-
	人数(人)	34,017		32,198
	稼働率(%)	-		-

※稼働率は小数点第2位四捨五入

▽ 不承認 0件、取消し0件、減免11,863件、還付69件

- ▼ 前田森林公園野球場 減免15件、還付26件
- ▼ 前田森林公園球技場 減免0件、還付1件
- ▼ 前田森林公園パークゴルフ場 減免3,232件
- ▼ 山口緑地西パークゴルフ場 減免1,268件
- ▼ 山口緑地東パークゴルフ場 減免2,812件
- ▼ 星置公園野球場 減免1件、還付19件
- ▼ 星置公園テニスコート 減免8件、還付4件
- ▼ 明日風公園テニスコート 減免11件、還付19件

計画では、平成29年度までに売上及び利用人数を平成22年から24年までの平均の3%増を目標としていたが、売上は明日風公園テニスコートの25%増のほかは、達成とならなかった。利用人数は、パークゴルフ場を除いた有料施設では最低で14%増、最高で71%増となり、窓口での親切かつ丁寧な案内や施設整備により利用者増となったと考える。パークゴルフ場も目標に届かなかったが、売上は順調に回復し、前年度より約1,507千円の増収となり、コースコンディションの維持や広報、窓口での案内について品質向上に努めた結果と評価する。

A	B	C	D

メディア等を活用した効果的な広報活動と、丁寧な対応が利用人数の増加に繋がったことを評価する。引き続き、情報発信と場内管理に努め、利用者の獲得に力をいれてほしい。

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 公式ホームページやTwitterなどのメディアを利用した広報、園内掲示板への情報掲示のほか、近隣へのチラシ配布、電話や窓口受付の際に公園自主事業の案内を付け加えるなどの取組みを行うとともに、快適な利用環境整備に努めた。</p> <p>▼ パークゴルフ場では、受付マニュアル等の改訂を継続することにより、利便性や受付の効率化により一層努めた。</p>	<p>野球場などの有料施設は、空き状況の情報発信を積極的に行ったことや、利用者へラインカーや机等の資材を提供することで、利便性の向上に繋げることができた。</p> <p>パークゴルフ場の利用については、マニュアルの充実により分かりやすい窓口案内をすることで、苦情が減り、一定の効果があったと評価する。</p>									
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、新鮮な情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページ アクセス数は108,685件となり、前年度同様に10万件を突破した。(前年度比106.5%)</li> <li>・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時対応することで、当事者から感謝の意を伝えられた。また、メールのやり取りにより講習会のリピーターとなっていた。</li> <li>・Twitter 園内の自然情報、バーベキュー広場の混雑状況、イベント情報などを常に発信し、質問に都度返答するなど、公園への理解を深める活動を行った結果、新規フォロワー数は前年度比290%の2,261人、合計のフォロワー数は3,770人となり、閲覧数も32,320,946件と前年度比約10倍の大幅増となった。</li> </ul>	<p>公式ホームページ経由の質問や、ツイッターでの返答などに迅速に対応する体制を整え、公園利用時の不安を取り除き、気軽に来園できるよう取り組んだ結果、公園のファンづくりに非常に役立ち、講習会のリピーター獲得へ繋がった。</p> <p>バーベキュー広場など問合せの多い施設については、ホームページに「よくある質問」を掲載し、内容を毎年見直している。閲覧者のニーズにあった疑問解消に有効で、問合せ対応の軽減に繋がり、広報活動の品質向上ができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f28b82;">A</th> <th style="background-color: #f28b82;">B</th> <th style="background-color: #f28b82;">C</th> <th style="background-color: #f28b82;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>インターネットを活用した、質問に対する迅速な返答や情報提供が、新たな公園利用者獲得に加え、リピーターの獲得につながったと評価できる。特に、一般的に使用されている最新の情報発信ツールであるTwitterの活用は、大きな効果があると思われる。引き続き、効果的な広報活動に取り組み、公園のファンを獲得することに努めてほしい。また、ホームページを更新する際は、ウェブアクセシビリティに配慮し、誰が見てもわかりやすいページを作成すること。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>インターネットを活用した、質問に対する迅速な返答や情報提供が、新たな公園利用者獲得に加え、リピーターの獲得につながったと評価できる。特に、一般的に使用されている最新の情報発信ツールであるTwitterの活用は、大きな効果があると思われる。引き続き、効果的な広報活動に取り組み、公園のファンを獲得することに努めてほしい。また、ホームページを更新する際は、ウェブアクセシビリティに配慮し、誰が見てもわかりやすいページを作成すること。</p>			
A	B	C	D								
<p>インターネットを活用した、質問に対する迅速な返答や情報提供が、新たな公園利用者獲得に加え、リピーターの獲得につながったと評価できる。特に、一般的に使用されている最新の情報発信ツールであるTwitterの活用は、大きな効果があると思われる。引き続き、効果的な広報活動に取り組み、公園のファンを獲得することに努めてほしい。また、ホームページを更新する際は、ウェブアクセシビリティに配慮し、誰が見てもわかりやすいページを作成すること。</p>											

▼ チラシの配布

子ども向け自然観察・環境教育系のイベントなどについて、5月初旬、夏休み、冬休み前の計3回、近隣教育機関と商店にチラシを配布した。大型催事(ふじまつり)前に催事情報とパークゴルフ場の紹介をメインとしたチラシ8,000枚を新聞折込にて配布した。

▼ プレスリリースの活用

定期的なプレスリリースを行い、イベントや季節の節目にニュースソースとして取り上げられる回数が安定して増加してきており、季節の情報として定期的に取り上げられるようになった。また、ドラマ、大規模タレント、地元タレントのロケーション(野外撮影)の場所としても活用された。

▼ 外部展示

JR手稲駅のフリースペース「あいくる」にて、冬季公園情報をパネル展示した。展示効果は高く、あいくるの展示を見た来園者が管理事務所スタッフに声がけすることが増加した。

▽ 引継ぎ業務

前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。

各種媒体への情報発信と共に、前田森林公園の美しい景観写真をインターネットに上げ続けることで公園の知名度がアップし、リアルタイムの情報が全国区の報道番組で取り上げられた。また、昨年度アイドルグループによるミュージックビデオ撮影に引き続き、今年も海外アイドルグループ、地元タレント等のロケーションの場所として活用され、広報効果を十分に発揮できた。

印刷物や展示物を積極的に地域に出していくことで、公園への理解と知名度が向上し、来園動機のない方にもアプローチでき、特に冬期利用者の獲得に繋がった。

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
<p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 展望ラウンジ レストラン(委託) 収入236千円</li> <li>▼ パークゴルフ場 レストラン(委託) 収入136千円</li> <li>▼ 自動販売機(委託) 収入1,325千円</li> <li>▼ 売店事業(管理事務所) 収入261千円</li> <li>▼ 売店事業(臨時) 収入82千円</li> <li>▼ コインロッカー 収入41千円</li> <li>▼ 売店事業(バーベキュー) 収入664千円</li> <li>▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入274千円、利用者1,367人</li> <li>▼ パークゴルフ初心者講習会 収入17千円、参加者56人</li> <li>▼ パークゴルフ交流大会 収入134千円、参加者134人</li> <li>▼ 新春門松作り 収入24千円、参加者12人</li> <li>▼ リース作り 収入16千円、参加者8人</li> <li>▼ クロスカントリースキー初心者講習会 収入138千円 参加者78人</li> <li>▼ 歩くスキー簡単初心者講習会 収入42千円、参加者42人</li> <li>▼ 歩くスキー貸出 収入389千円、利用者1,945人</li> <li>▼ スノーラフティングボート 収入278千円、利用者555人</li> </ul> <p>②山口緑地西コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 自動販売機(委託) 収入33千円</li> <li>▼ パークゴルフ交流大会 収入107千円、参加者107人</li> <li>▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入20千円、利用者98人</li> </ul> <p>④明日風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 自動販売機(委託) 収入259千円</li> <li>▼ リース教室 収入36千円、参加者24人</li> </ul> <p>⑤山口緑地東コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 自動販売機(委託) 収入242千円</li> <li>▼ 売店事業(クラブハウス) 収入225千円</li> <li>▼ パークゴルフ交流大会 収入125千円、参加者125人</li> <li>▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入57千円、利用者282人</li> </ul>	<p>29年度の収入前年度比は、事務所売店135.3%、東パークゴルフ場売店127.1%、冬期事業のラフティング134%と好調であった。</p> <p>自主事業全体では約101.5%となり、自主事業収入を管理費に繰り入れ、管理費の負担軽減に繋げることができた。</p>	<p>全体的に収入が増加しており、適切な対応がされていたと評価できる。</p>
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 第三者への委託業務は、市内企業に発注した。</li> <li>▼ 物品調達の際は、市内企業から購入した。</li> <li>▼ 札幌稲穂高等支援学校、北海道札幌高等養護学校からの実習生を受け入れた。</li> </ul> <p>▼ 高齢者福祉施設の公園利用の際に、展望ラウンジ裏駐車場を開放した。また、体の不自由な方へは管理事務所駐車場をご利用いただき、車いすを貸し出した。また、管理事務所にスタッフ用の手話の資料を配置して対応した。</p>	<p>委託業務及び資材の調達は市の方針のとおり市内の企業を選定発注することができた。</p> <p>福祉の取組みとして、高等養護学校や支援学校の授業協力を行った。また、身体の不自由な方への公園利用や案内についても適切に対応できた。</p>	<p>市内企業の活用や養護学校との連携は今後とも継続していただきたい。</p>



3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C	D
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートボックスの設置</li> <li>・イベント参加者を対象としたアンケート</li> </ul>	<p>前年度同様、アンケートボックスの複数設置により、安定したサンプル数を確保でき、多くの意見・要望が寄せられた。公園の総合満足度、スタッフの接客満足度共に札幌市の要求水準を上回り、当コンソーシアム目標値も達成した。総合満足度については、前年度を上回ることができた。寄せられた意見・要望では、犬に関する苦情が例年どおり多く、引き続き対応に取り組むとともに園内放送を効果的</p>			
結果概要	<p>上記アンケートの集計結果(回答者321人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼公園の総合満足度:81.3% (札幌市の要求水準70%・当園目標75%を達成するとともに前年度を上回った)</li> <li>▼スタッフの接客に関する満足度:86.7% (札幌市の要求水準80%・当園目標85%を達成)</li> <li>▼回答者属性 札幌市内在住の65歳以上が33.5%と最も多く、次いで20代が12.7%となり、特に高齢者の意見が回収できた。</li> <li>▼公園利用頻度 月1~2回以上が20.6%、初めてが21.3%等、設問毎に20%前後となり、リピーターの意見が大半を占めた。</li> <li>▼情報を得る手段 友人知人からの情報が28.2%と最も多く、次いでその他21.6%、広報さっぽろ17.2%となった。テレビや紙媒体などが合わせて19.5%、IT関係が18.9%となり、口コミが多い結果となった。</li> </ul>				
		<p>利用者の意見を取り入れるための工夫がされており、満足度も水準を上回っている。様々な苦情要望に対し、適切な対応をしていると評価する。今後も利用者の要望には積極的に対応してほしい。</p>			



<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p><b>【要望】</b> 木に名札を立ててください。</p> <p><b>【対応】</b> 市民団体の活動により樹名板を更新している。アンケートに謝意のコメントが書かれていた。</p> <p><b>【要望】</b> 真夏以外にも自動販売機にホットのお茶やコーヒーを入れてほしい。</p> <p><b>【対応】</b> 委託業者との連絡を密にとり、商品の入替等速やかな対応を心掛けた。</p> <p><b>【要望】</b> 桜を増やして。</p> <p><b>【対応】</b> 市民団体からの札幌市への寄付もあり、ふるさとの森に桜を植栽している。</p> <p><b>【苦情～犬に関して】</b> ・犬の出入りを禁止してください。 ・ぜひともペットの入場禁止にしてほしい。 ・犬の散歩はマナーが悪い人が多いので禁止にしてほしい。</p> <p><b>【対応】</b> 巡回時の清掃でフンの回収を実施したほか、園内にマナー啓発の看板を掲示し、園内放送などでの呼びかけも行っている。</p> <p><b>【苦情～トイレに関して】</b> ・トイレがキレイになるともっと利用しやすくなるのですが。 ・レストハウスの身障者トイレの水漏れカビ直して欲しいですお願いします。</p> <p><b>【対応】</b> ・清掃については、定期的に清掃するとともに、利用者から汚れの情報をいただいた際には、即時清掃対応した。 ・水漏れカビについては、広範囲にわたり水が滴り落ちていたため、漏水箇所の特定に時間がかかったが、指定管理者により修繕を実施した。</p>	<p>に使用した結果、放送時には引綱を繋ぐなど一定の効果が表れた。来園者の要望から更衣室をプレハブに変更しているが、今年度も多くの利用者から好評を得た。</p> <p>また、清掃や草刈りなど園内管理への称賛もアンケート等で多数記載があり、満足度の数値が裏付けられた。</p> <p>いただいた要望や改善案に対して、コメントを付したアンケート結果を休憩所などへ掲示しているが、閲覧した利用者からコメントについてもお褒めいただいた。以上のことから、アンケートを基に公園維持管理運営の品質向上ができたと考えている。</p>
-------------------------	--	--

4 収支状況

▽ 収支 (千円)			
項目	H29計画	H29決算	差
収入	107,762	100,776	▲ 6,986
指定管理業務収入	103,112	94,593	▲ 8,519
指定管理費	68,783	68,783	0
利用料金	34,329	25,810	▲ 8,519
その他	0	0	0
自主事業収入	4,650	6,183	1,533
支出	107,762	107,557	▲ 205
指定管理業務支出	105,437	102,637	▲ 2,800
自主事業支出	2,325	4,920	2,595
収入-支出	0	▲ 6,781	▲ 6,781
利益還元	0	0	0
法人税等	0	126	126
純利益	0	▲ 6,907	▲ 6,907

▽ 説明

- ▼利用料金収入は、前年に引き続き高い目標値を掲げたが、広報活動や施設の品質維持向上に努めた結果、前田森林公園パークゴルフ場の利用が好調で、前年度より1,415千円の増収となった。
- ▼自主事業収入は、委託販売手数料が前年度を下回ったが、売店の商品選定や冬期備品の更新もあり、増収となった。
- ▼自主事業支出は、人件費や光熱費、振替支出が嵩んだ。また、什器備品の更新もあり、結果、支出増となった。
- ▼指定管理業務支出は、パークゴルフ場の芝生管理レベル向上に向けた作業員2名の追加雇用と肥料・種子等の資材購入のほか、公園施設・札幌市備品の修繕等による支出増があったが、その他の職員費、消耗品費、委託費、光熱水費等の経費節減に努めた結果、全体で計画より2,800千円の削減となった。
- ▼以上の事から、収支は差引き▲6,907千円の差額が生じた。

自主事業収入は、販売商品の見直し、総合窓口での各種イベント等の照会、スキー貸出備品の更新等により前年度より増収となった。前年度の検討案件であった貸出スキー関係備品の更新により団体利用者を確保できたのも増収の要因と考えられ、良い結果となった。また、カフェの営業を通年とした結果、カフェと管理事務所売店双方とも増収となり、利用者への利便提供と収入増加へ繋がったことを評価する。

パークゴルフ場は、今年度も賃金や資材購入費等の管理経費が嵩んだが、コース管理を高いレベルで維持した結果、利用者にも好評で、前年度に引き続き増収となった。特に森林コースが、山口緑地両コースの減収分を上回る結果となった。全体の利用料金収入については、悪天候の影響もあったが、前年度売上から1,415千円増収となり、当初予算には及ばないが、今期指定管理期間では、継続的な増収を図れたことを評価する。

A	B	C	D

利用料金の増加から、広報活動や施設の管理が良かったと評価できる。引き続き利用者の獲得に力を入れていただきたい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、平成29年度、若干の赤字決算になる見込みではあるが、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。</p>		<p>適 不適</p>
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼情報公開請求はなかった。</p> <p>▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。</p> <p>▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。</p> <p>▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。□</p> <p>□</p> <p>□</p>		<p>適 不適</p>

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>利用料金収入は、年度当初の見込みより794千円の増収となった。星置公園と山口緑地の収入が減収となる中で、前田森林公園の利用料金が大幅な増収となり、前年度より1,415千円の増収となった。</p> <p>自主事業は、指定管理費の収支改善を図るため、管理費の効果的な運用による備品更新、効果的な広報活動をした結果、売上増を達成した。利用者ニーズを把握し的確な判断をもって、売上増につながったことを評価する。</p> <p>前田森林公園凸凹クラブ、明日風フィオーレ、手稲プレーパークの会、各パークゴルフ同好会など、市民協働の取組みは継続して実施できた。前年度にカナル清掃ボランティア参加者の中から、ボランティア活動が行われる運びとなり、草刈隊として活動をしている。市民団体へは、継続的な活動の支援、良好な関係を維持できたことを評価する。</p> <p>園地管理では、雪割や融雪剤散布等を実施し、計画に沿ったオープン準備ができた。また、草刈の頻度や区域の見直しにより、野鳥営巣地の保護など自然環境の保全を図るとともに、全体として良好な景観の維持管理に努めた結果、アンケート等により、「よく管理されている」「だんだんきれいになってきた」「よく整備されていて大変でしょうけど頑張ってください」など、称賛や励ましの言葉を多くいただいた。</p> <p>樹木については、今年度は農地沿いの樹木を整理した。そのことにより、日陰による作物の減収などによる問題の発生を未然に防げた。また、ポプラ並木の整枝剪定、広葉樹の森の間伐や剪定を実施し、景観の維持向上ができたことを評価する。</p>	<p>利用料金収入について、次年度も増収を図るためパークゴルフ場芝生のコンディション維持に努めるとともに、野球場やテニスコートにおいても備品の充実や施設修繕など、施設利用に係る品質向上が図れるよう努めたい。</p> <p>次年度も自主事業の実施内容や運営費等を総合的に精査判断し、増収を図りたい。</p> <p>地域住民との良好な関係の中から、新たに有意義で継続的な活動が実現できたことから、今後も市民との良好な関係の継続に努めたい。</p> <p>樹林地草管理では、野鳥の営巣地となっている区域が多いため、草刈り管理計画実施回数を減らすなど計画を見直し、野生動物に影響が出ないように努めると同時に、整備された印象を失わないよう維持管理に努めたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
効果的な広報活動が、新たな公園利用者のみならず、継続して公園を利用するファンの獲得につながっている。今後も、利用者により満足していただけるよう努めてほしい。	上記の所管局評価を参照してください。